

2010年度 東京医科歯科大学 医・歯 前期 英語

1

c) e) b) d) b) a) a) d) c) e)

2

1)the theory / the BWT 2) the conflict (between norms) 3)the contextual norm
4)the walls 5)the flyer

3

1) F 2) F 3) T 4) F 5) T 6) F 7) T 8) T 9) F 10) T 11) T 12) F 13) F
14) F 15) F 16) F 17) T 18) T 19) T 20) F 21) F 22) T 23) F 24) T

4

1) Subjects were about thirty percent more likely to litter in the disorder condition than in the order condition. (18 words)

2) Subjects got signs of violations in unstated norms visually in study 1 and audibly in study 4. Both showed an increase in norm-violating behavior. (25 words)

3) Don't overlook small examples of disorders like broken windows or litter, or they will just get worse. (17 words)

5

(ア) ゴミを捨てるべきではないという規範は、人がゴミを捨てるのを見かけたり、その規範が掲示されているのを見たりする場合、人々はより強く意識するものだ。

(イ) よって人々は必ずしもその不適切な行為を模倣するわけではないが、適切さ以外の関心を優先させてしまう可能性がある。

6

< 解答例 1 >

ゴミを捨てない、落書きをしない等の常識的行動規範を「命令的規範」、特定の場においてよく見られる行動規範を「記述的規範」と言う。四つの研究では、ある種類の社会的規範が守られた「秩序状態」（命令的規範と記述的規範が一致した状態）と守られていない「無秩序状態」（両規範が一致しない状態）のそれぞれにおいて、別な種類の社会的規範を守って行動するかどうかを、監視されているとは知らせないまま、観察した。この条件の下で実験を行った結果、「落書きをしない」等の一つの規範が守られている秩序状態では、「ゴミを捨てない」等の別な規範も守られる傾向があることが検証され、街の美化と犯罪抑止効果の関連が示唆された。(298 字)

< 解答例 2 >

守るべきだと認識されている規範でも、周囲がそれに従っていない場合はないがしろにされ、不適切な行為が横行する。ここでの4つの実験の狙いは、ある規範に従わないことが影響し、別の規範にも従わなくなるかを検証することである。

すべての実験で被験者は観察されていることは知らない。そして、不適切だと認識されている行為が行われている無秩序な状態と、そういった行為のない秩序ある状態という2つの条件下で、被験者が別の不適切な行為をする確率に影響するか調べた。秩序のある状態と比べ無秩序な状態では、人々は利己的になり、規範全般に対して意識が低下し、他の不適切な行為も許容するようになることが示された。(291 字)